

NO.1 日本の高齢者をめぐる状況に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 65歳以上の高齢者の人口は増加を続けており、既に総人口の4分の1を超えている。
- イ. 在宅医療などを充実させる政府の施策が進められており、高齢者医療費が国民医療費全体に占める割合は20%程度に抑えられている。
- ウ. 国民年金又は厚生年金に加入し、一定期間以上保険料を納めた者は老齢年金を受給できる。老齢年金の受給額は、保険料の納付期間や金額によらず一律である。
- エ. 介護保険制度の保険料を納めた者は、介護が必要と認定された場合、費用の一部を支払い、介護サービスを利用することができる。要介護認定者数は増加を続けている。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

NO.2 次のア～ウは、それぞれ絶対王政期のイギリス、スペイン、フランスのいずれかの国に関する記述である。記述と国名を正しく組み合わせているのはどれか。

- ア. ハプスブルク家出身の国王が神聖ローマ皇帝も兼任し、広大な領土を支配した。その次の国王は絶対王政の最盛期を築き、レパントの海戦でオスマン帝国の海軍を破り、ポルトガルを併合して、「太陽の沈まぬ国」を実現した。
- イ. バラ戦争の結果、封建貴族が没落して王権が強化され、国教会を創設した国王の下で絶対王政が確立した。その後、無敵艦隊を撃破して国際的地位を高め、また毛織物工業の発展を背景に、積極的に海外進出を図った。
- ウ. ナントの王令（勅令）により新教徒に信仰の自由を認めて国内をまとめた後、中央集権化を進め、官僚機構も整備した。その後、王権神授説を採る「太陽王」と呼ばれた国王の下で、絶対王政の最盛期を迎えた。

- | | ア | イ | ウ |
|----|------|------|------|
| 1. | イギリス | スペイン | フランス |
| 2. | スペイン | イギリス | フランス |
| 3. | スペイン | フランス | イギリス |
| 4. | フランス | イギリス | スペイン |
| 5. | フランス | スペイン | イギリス |

(教養試験 警察官B)

NO.3 A～Cの3人が1年間に読んだ本の冊数は3人合わせて100冊であり，各人が読んだ冊数の比は，AとBが3：2，BとCが3：5であった。読んだ冊数が最も多い人と最も少ない人の冊数の差は何冊か。

1. 8冊
2. 10冊
3. 12冊
4. 14冊
5. 16冊

正答番号 5